

20201129 KMA サーマル大会：競技の準備&進行メモ

2020.11.20 森尾、11.26(青字), 11.28(赤字)

RES 関連

■ ショックコードの設置 (参照: Layout.pdf)

- ・ ショックコードは東西に3本: ゴム15mにテグス50m目安。
- ・ 張力は4k未満(当日の風で決める)で、同一程度に揃える:
- ・ 発航位置に線を引き、それより前で発航(万歳が怖い人はもっと前で発航可)

■ 発航とリトリブ方法関連 (以下の説明は北西風の場合)

- ・ 進行: 森上さん。ジャッジ: 道下さん、篠原さん、徳島さん
- ・ リトリブ役はショックコード毎に3人専任: 谷口さん、能米さん、芦谷さん
- ・ 発航の順序
 - A. 発航は風下のs3から。
 - B. 離脱後ショックコードが風上のs2に重なってなければ、s2が発航
 - C. s2のコードが風上のs1に重なってなければ、s1が発航
 - D. s3が他に重なってなければ、(Aに戻り)s3の発航。
- ・ (ランチ初期での)脱索リランチは、進行役が認める場合に1回のみ可。
- ・ リトリブ役は、手を傷つけないよう念のため革手袋をつける(森尾持参)
- ・ リトリブ役は、フラッグ回収後ゴムを伸ばし始める前の位置で待機
- ・ RESの競技時間外は、ショックコードはリールに巻き取りペグ位置に置く。

■ 定点関連

- ・ 定点は電動クラス用に9箇所(No.5は無し)作り、Open、RESも共通利用。
- ・ RESの定点は発航位置最寄りの定点を利用: 定点7,8,9へジャッジャが誘導
- ・ 定点が混んだ場合は発航待機

OPEN 関連

- ・ ウインチは3台設置(Layout図参照)。
- ・ 進行: 上野さん、リトリブ: 後藤さん
- ・ ジャッジ: 村上さん、新階さん、岩崎さん、中さん
- ・ Openの定点8,7,4,6の空いてる箇所へジャッジャが誘導
- ・ (ランチ初期での)脱索リランチは、進行役が認める場合に1回のみ可。
- ・ 定点が混んだ場合は発航待機

電動関連

- ・ 3グループ。ジャッジは2グループ後の選手が行う。不足箇所は芦谷さん
- ・ グルーピング・発航&定点位置は基本ランダム。
- ・ 発航と着地方向は、風向きで本部から指定する。

ハンドランチ関連

- ・ 1グループ（全員で一斉飛行）。
- ・ ジャッジは選手以外のほぼ全員。ジャッジは選手の側でアドバイスも可。
- ・ 初参加の女性選手は、代投者による代投を認める。
危険と判断した際は、代投者への操縦交代を認める（その際のスコアはゼロ）。
- ・ ハンドキャッチボーナスは無しに変更。滞空時間のみを競う。
- ・ 作業時間4分、Max3分、1投のみ。
- ・ 作業時間は声タイマーでアナウンスされる。
- ・ 作業時間内にMax飛び切った場合は、ジャッジが飛行終了を選手に告げ、安全を確認しながら順次速やかに降りること。
- ・ 合計得点で同点の場合は、ワースト1ラウンドカットに。それでも同点ならワーストカット無しに。それでも同点なら年功序列に。

飛行時間の取扱い。

種目によって、飛行時間の取扱いが異なりますので、以下に纏めます。

全て、フィールド（ロープ）内に機体の一部が入ってないと失格です。

	電動	ハンドランチ	オープン	RES
開始	手を離れた時	手を離れた時	索から離脱時	索から離脱時
終了	接地 作業時間終了	停止 操縦者に触れた時 作業時間終了 Max 越えは Max に	停止 Max 越えは減点	停止 Max 越えは減点
メモ	モーターON は 作業時間開始後		突き刺しも OK	突き刺しや、 壊れても、 裏返しも、 着陸点なし

以上